

未来をつかむ西上音更小学校～きらり・がっちり・にっこり～

# 西上小だより

学校教育目標  
○明るく元気な子  
○よく考える子  
○仲良くがんばる子

平成30年6月12日(火)  
士幌町立西上音更小学校  
校長 川上 裕明

## まさしく「大運動会」

最高の天気のもと、たくさんの方に見守られながら、全校児童11人の力が躍動しました。



## 未来をつかむ西上音更小学校～きらり・がっちり・にっこり～

そして、大運動会の名の通り、保護者の方や地域の方にもたくさん競技に参加していただきました。たくさんの笑顔がグランドにあふれました。



紅白対抗の児童の部では、最後の競技まで勝敗が決しない激戦でした。悔しい思いもありましたが、その悔しさは今までチームで練習に打ち込んできた努力があったからこそです。



午後からは、総勢100人を超えるみなさんの、大焼肉会。前日まで綿密に計画と準備をしてくださった閉校事業実行委員会事業部の皆さんのおかげで、豪華しほろ牛が山盛りの焼肉をおいしくいただきました。

こんな運動会、他のどこにもない！今まで、たぶんこれからも。西上音更小学校閉校記念大運動会は、あの場にいたみんなの心に、ずっとキラキラ輝き続けることでしょう。

◇◇校長室から◇◇

勝ったり負けたり

私にも、学級担任時代が20年以上あります。ほとんど中学校教師で、行事にはかなり熱くなっていました。体育祭当日は、自分の学級が赤組のときは靴からシャツから靴下から全身赤。緑組のときは全身緑……と、体育祭用全身カラーセットがタンスに何色分もあり、妻に呆れられています。球技大会に合唱祭……熱が入った分、学級が勝っても負けても涙です。やり過ぎの前後不覚は禁物ですが、全力で取り組むと勝敗どちらでも得るものはある。

教頭になって学級担任から離れ、校長になると「どっちの組が勝ってもいい」「ケガをしないでくれたら充分」「グランドに出てがんばっていれば最高」と思うようになりました。輪になって「元気出せ音頭」を踊っている2年生を見るだけで泣けてきたり。年ですかね。

今年の運動会、全力で競技に臨み負けて涙している児童を見て、その姿にハッとした。悔しさから大事な何かをつかんだことでしょう。で、こっちも涙……。

